

施設紹介

熊本県消防学校

上益城郡益城町大字惣領
TEL(〇九六二八)一六一九二二三



本校は、熊本市横手町の千原台に昭和三十八年十月に開校以来十七年間、消防職員、消防団員の教育の場として、或いは事業所等の自衛消防隊員養成の場としてその役割を果たしてきましたが、近年の教育需要の増大、教育内容の多様化に対応することが困難になってきたため、本年四月熊本市の東部と境を接した益城町に移転しました。

新学校は、広々とした託麻ヶ原の中央に位置し、九州縦貫自動車道の西側、整然と建ち並ぶ工業総合団地に隣接して、阿蘇連山を一望することができます。

敷地面積四万七千九百七十㎡、建物延面積五千五百八十四㎡、総事業費十六億二千万円(用地費、工事費、その他)をかけてつくられ、最新の機器を有する本館、百二十名収容の寄宿舎、武道場、消防資料館、地下二階地上十階高さ三十五mの多層目訓練ができる訓練塔など全国でも有数の施設です。特に寄宿舎屋上に設けたソーラーシステムは、時代に即応した省エネルギー化としても大いに注目されるでしょう。

各棟は、学生の生活の中心である寄宿舎を軸に本館、武道場、屋内訓練場を渡り廊下で連結し、機能的に配置され、いつまでもきれいに使えるよう工夫されています。

県下の消防関係者の熱い視線を受けながら完成した新学校は、従来できなかった二科目併設が可能となり、年間を通じて多くの学生が入学できるようにになりました。さらに教育訓練に必要な諸設備、資器材ともに一層充実されたので、新しい科目も設けることになりました。

現在まで消防職員三千二百二十六人、消防団員三万四千三十二人、自衛消防隊員二百四十人、県事務所、市町村役場職員三百三十四人の入校者があり、それぞれの地域で業務遂行に活躍しています。

いろいろな災害の発生を防止するため懸命の努力が払われているにもかかわらず、多くの人が犠牲となる火災や爆発事故或いは交通災害等が多発しています。

このようなときに、消防は、火災の鎮圧をはじめ、予防救急等の幅広い任務の遂行を通じて地域住民の日常生活に最も身近な行政として社会の期待に応えなければなりません。そのためには、消防職員、消防団員の資質の向上を図ることが極めて重要であり、消防学校は、消防業務の高度化に対応した教育訓練の充実強化を図るため、今後一層の努力を求められているところ です。

この人と30分

このコーナーは県出身者で各界で活躍しておられる方々を紹介するとともに、県政への提言などをお聞きするものです。

子供を信じてくれて

歌手 石川 さゆり

赤のセーターにカーディガンという軽やかな服装で、約束の時間にインタビュー場所である熊本放送東京支社に現われた。時間丁度に現われるところなど、さすがに分刻みの売れっ子である。

自分で言うように、本当にどこにでも見かけるような、きさくで飾り気のないお嬢さんである。

ブラウン管を通して、陰影豊かに「女」を歌いあげるさゆりさんだが、初対面ながら肥後女性のしんの強さもみだ思いがした。

昭和四十八年、地元熊本でデビュー。五十二年「津軽海峡冬景色」が爆発的な大ヒットとなり一躍トップスターに。

昭和三十三年一月三十日、飽託郡飽田町生まれ、二十三歳。小学五年で横浜に移り、堀越学園高校卒。

これまでに「能登半島」「暖流」「沈丁花」「火の国へ」などシングル盤二十五枚、LP盤二十枚を出している。昨秋発売の「鷗という名の酒場」はロングセラーを続けている。

本名 石川絹代 ホリプロダクション所属、東京都目黒区下目黒一丁目二番五号

飽田町出身

飽託郡飽田町の生まれなんです、小学校五年のとき横浜市に移りました。

熊本では砂原(飽田町)という所で家が八百屋をやっていました関係で、小さい頃横浜に移ったわりには意外と近所の方たちなど広い範囲で知り合いの方が多かったです。だから今帰っても、「何とかさんちのおばちゃんとか、どここのおばあちゃん」というような方がたくさんいらっしゃいます。

両親も熊本生まれの熊本育ちだったので、東京には親類がまったくないんです。だから家庭での話題は自然と熊本になっちゃうんです。農免道路や小学校の体育館が出来たとか、どこにはお嫁さんがいられたとか、赤ちゃんが生まれたとかいろいろなことを熊本から電話してもらったり、また、こちらから電話して聞くんなんです。だから、熊本がちよっと一部分切れて、東京に出張所があるという感じですね。

オテンバさん

小さい頃はすごいオテンバで男の子と同じような事をやって遊んでいました。近くを白川が流れていまして、半田(熊

